



週間情報



No.0808

発行日 令和8年2月24日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03-4500-6622

両会の動き

◆ 「第1回ハイパフォーマンスCPRベーシックコース in 群馬」を開催

群馬県消防長会

群馬県消防長会では、令和8年2月1日（日）、前橋市消防局において、「第1回ハイパフォーマンスCPRベーシックコース in 群馬」を開催しました。

当日は、県内の職員30人が参加し、第1部では、京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻予防医療学分野教授の石見拓氏を講師としてお招きし、「GRAの紹介・救急隊データ収集と活用」と題し、ハイパフォーマンスCPRにおけるデータ収集と活用の重要性についてご講演いただきました。

また、第2部では、明治国際医療大学救急救命学科講師の原貴大氏を中心に、県内消防本部（局）に所属するハイパフォーマンスCPRファシリテーターおよびプレファシリテーターが指導者となり、質を意識した胸骨圧迫と人工呼吸、胸骨圧迫の中断時間を短縮するための隊活動、自動式心マッサージ器の取扱いなどを学びました。

今後も、本コースで学んだことを生かし、質の高い蘇生活動の浸透を図るとともに、傷病者の社会復帰率の向上に努めてまいります。



【研修の様子】



【研修後の記念撮影】

消防本部の動き

行事

◆ 予防技術資格者の認定証・胸章交付式を実施

羽咋郡市広域圏事務組合消防本部（石川）

羽咋郡市広域圏事務組合消防本部では、令和8年2月6日（金）、予防技術資格者の認定証・胸章交付式を実施しました。

この交付式は、令和6年能登半島地震発生などにより実施が見送られており、3年ぶりに実施したものです。

当日は、消防長より、予防技術検定に合格した13人に対し、認定証を交付したほか、防火査察、危険物、消防用設備等の3区分全ての認定を受けた5人に対して胸章を交付しました。

認定された職員は、防火対象物、危険物施設の大規模化・複雑化や法令改正への対応等の諸課題に対応するべく、日々研鑽を重ねるとともに、予防業務のエキスパートを目指し職務に邁進してまいります。



【交付式の様子】



【認定者の集合写真】

訓練

◆ 文化財防火デーに伴う消防演習を実施

東京消防庁（東京）

東京消防庁本郷消防署では、令和8年1月26日（月）の夕方、ライトアップされた「湯島天満宮」において、文化財防火デーに伴う消防演習を実施しました。

当日は、周辺住民への事前広報によって多くの見学者が訪れ、「本殿から出火した。」との想定で、自衛消防隊員が火災を発見後、119番通報および初期消火を行うとともに、通報を受けた消防隊と消防団が一斉放水を実施し、ライトアップされた本殿の幻想的な美しい光景に多くの歓声が上がりました。

日の入り後の消防演習は、当署として初めての試みで、日中とは異なる緊張感のある消防演習を通じて、消防署、消防団、自衛消防隊、そして地域の方々と共に、地域の大切な宝を火災から守り抜くという決意を新たにしました。



【消防演習の様子】

◆ 「文化財防火デー防火訓練」を実施

土浦市消防本部（茨城）

土浦市消防本部では、令和8年1月30日（金）、国の登録有形文化財であるクラフトシビックホール土浦において、土浦市教育委員会との共催で、「文化財防火デー防火訓練」を実施しました。

この訓練は、市民の文化財愛護に関する意識の高揚を図ることを目的として実施したものです。

当日は、市内小学生、土浦市文化財愛護の会、地域住民が参加し、昔の消防用具の説明をはじめ、119番通報訓練、初期消火訓練、そして力強い放水訓練を実施しました。

今後も、地域の宝である文化財を火災等の災害から守るため、関係機関や周辺住民との連携を一層強化するとともに、次世代を担う小学生を含めた市民全体の防火意識の向上に努めてまいります。



【昔の消防用具説明の様子】



【訓練の様子】

◆ 第20回アジア競技大会に伴う化学テロ災害合同訓練を実施

稲沢市消防本部（愛知）

稲沢市消防本部では、令和8年2月2日（月）、管内にある豊田合成記念体育館ENTRIOにおいて、化学テロ災害を想定した合同訓練を実施しました。

この訓練は、同年9月19日から開催される第20回アジア競技大会に先立ち、競技会場の一つである同施設において、関係機関が合同で訓練を実施することで、災害発生時の対応力および連携力を強化するとともに、広域応援体制を確立することを目的として実施したものです。

当日は、豊田合成株式会社、TGSPORTS株式会社、公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会、愛知県警察本部、稲沢厚生病院、稲沢市民病院、一宮市消防本部、海部東部消防組合消防本部、西春日井広域事務組合消防本部が参加し、200人規模の訓練となりました。

また、「何者かにより有毒物質（サリン）が散布され、多数の観客が曝露し負傷した。」との想定で、部隊運用、検知活動、除染所設営、応急救護所設営などを行い、大変有意義な訓練となりました。



【訓練の様子】

◆ 警察機関と合同で冬山遭難を想定した救助訓練を実施

弘前地区消防事務組合消防本部（青森）

弘前地区消防事務組合消防本部では、令和8年2月4日（水）、南八甲田山系の横岳において、青森県警察本部と合同で、冬山遭難を想定した救助訓練を実施しました。

この訓練は、近年、増加傾向にあるバックカントリースキー中の遭難事故に備えるため、同警察本部と連携を強化するとともに、冬山における救助体制の充実を図ることを目的として実施したものです。

当日は、当消防本部と同警察本部から計26人が参加し、現地指揮本部の運営訓練をはじめ、スノーシュー、山スキー、読図、GPSを活用しながら雪上の登行訓練を行った後、低体温症ラッピングをした要救助者をSKEDにより搬送するなど、多岐にわたる訓練を実施しました。

今後も、同警察本部との継続的な連携訓練と情報交換を通じて、顔の見える関係を構築しながら、災害対応力の一層の向上を図るとともに、連携強化に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ インバウンドによる多数傷病者対応訓練を実施

松山市消防局（愛媛）

松山市消防局では、令和8年2月5日（木）、JR松山駅において、インバウンドによる多数傷病者発生を想定した対応訓練を実施しました。

当日は、関係機関が緊密に連携し、ライブ映像119を活用した消防機関への情報共有を実施したほか、エアーストレッチャーを活用した搬送訓練を行い、駅構内での迅速・安全な救出搬送方法を確認することができました。

また、インバウンド対応や現場統制の課題を共有することができ、実践的で有意義な訓練となりました。

今後も、関係機関との連携強化を図るとともに、災害対応力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 他消防本部および警察機関と合同で重機実動訓練を実施

館林地区消防組合消防本部（群馬）

館林地区消防組合消防本部では、令和8年2月6日（金）、当消防本部板倉消防署屋外訓練場において、石橋地区消防組合消防本部および群馬県警察本部機動隊と合同で、重機実動訓練を実施しました。

当日は、重機による登はん、狭隘路走行、悪路走行、障害物搬送、片輪走行、掘削・鋤取りなどの訓練を行い、重機操作技術と連携要領を再確認することができました。

また、「土砂や倒木により、要救助者がいる現場への唯一のアクセスルートが寸断された。」との想定で、消防・警察が連携し、重機を活用した道路啓開訓練を実施しました。

今後も、関係機関との連携強化と重機を活用した救助・道路啓開能力の向上を図るとともに、住民の安全・安心の確保に努めてまいります。



【訓練の様子】



【訓練後の記念撮影】

◆ 他消防本部と消防活動合同訓練を実施

羽生市消防本部（埼玉）

羽生市消防本部では、令和8年2月10日（火）、東京インキ株式会社羽生工場において、埼玉東部消防組合消防局と、工場火災を想定した消防活動合同訓練を実施しました。

この訓練は、関係機関との連携強化および大規模建物火災時における実践的な対応力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、40m級はしご車と13mブーム付多目的消防ポンプ自動車との連携活動を中心に、高所からの救助活動、梯上放水、指揮本部運営、情報伝達要領、進入統制要領、安全管理要領を再確認しました。

この訓練を通じて、複合的な災害現場における部隊間の連携強化と現場対応力の向上を図るとともに、関係機関との「顔が見える関係」を構築することができました。

今後も、他消防機関および関係事業所との連携強化と災害対応能力の向上を図るとともに、地域の安全・安心の確保に努めてまいります。



【訓練の様子】



【訓練後の記念撮影】

研 修

◆ 「大規模災害対応力向上研修」を実施

羽島市消防本部（岐阜）

羽島市消防本部では、令和8年1月29日（木）、「大規模災害対応力向上研修」を実施しました。

この研修は、大規模災害発生時の災害対応能力の向上を図ること目的として実施したものです。

当日は、職員のほか、消防団長・消防団員も参加し、奥能登広域圏事務組合消防本部の安用寺浩史氏をWeb講師としてお招きして、能登半島地震において被災地で消防活動に従事された経験を基に、現場で直面した課題、指揮・支援体制、関係機関との連携の重要性についてご講義いただきました。

この研修を通じて、大規模災害に関する実践的な知識を習得できたほか、災害対応における学びと気づきを得ることができ、貴重な機会となりました。

今後も、災害に対する的確な判断力の養成と関係機関との連携強化を図り、組織全体としての大規模災害対応力の向上につなげてまいります。



【研修の様子】

◆ 「東日本大震災での活動を振り返る伝承研修」を実施

花巻市消防本部（岩手）

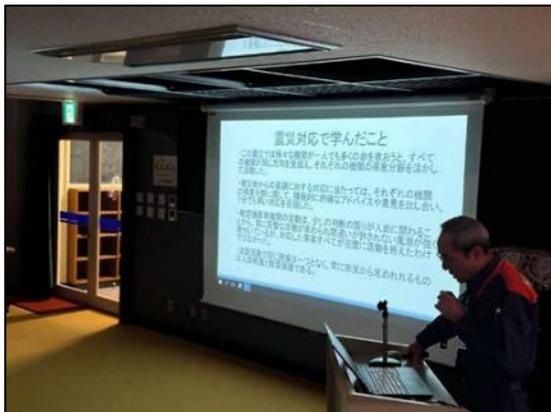
花巻市消防本部では、令和8年2月3日（火）、6日（金）の2日間、東日本大震災から15年を迎えるに当たり、「東日本大震災での活動を振り返る伝承研修」を実施しました。

この研修は、当消防本部職員の約半数が東日本大震災後の採用者で、当時の消防活動を経験していないことから、当時の消防活動を追体験し、今後の災害対応要領について考えることを目的として実施したものです。

両日は、発災当時、中堅職員として現場対応した現幹部職員2人が講師となり、岩手県防災航空隊の活動内容や花巻空港SCUでの活動内容について講義を行いました。

また、DMATとして活躍されている岩手医科大学医学部救急・災害医学講座助教の藤原弘之氏を講師としてお招きし、DMAT活動要領と消防との連携活動についてご講義いただき、情報共有を行いました。

今後は、本研修で追体験した教訓を基に、守るべき未来を考え、災害対応能力の向上に努めてまいります。



【研修の様子】

◆ 「魔王塾フィードバック研修」を実施

十和田地域広域事務組合消防本部（青森）

十和田地域広域事務組合消防本部では、令和8年2月10日（火）、「魔王塾フィードバック研修」を実施しました。

この研修は、令和7年7月、青森県消防学校の災害対応力向上コースにおいて、つくば市消防本部の早川亮氏を講師としてお招きして開催した、「消防人財育成研修について～魔王塾～」を振り返り、消防教育をアップデートすることを目的として実施したものです。

当日は、オンライン参加も含めて約60人が受講し、人材育成に関する発問に対してグループワークなどを行い、教育技法についてより深く考えるアクティブラーニングな研修となりました。

今後も、本研修で学んだことを生かしながら、それぞれの所属・立場でできることを見つけ、「共育による科学反応」で職場環境づくりの意識改革に努めてまいります。



【研修の様子】



【「消防人財育成研修について～魔王塾～」の様子】

◆ ハラスメント研修を実施

鶴岡市消防本部（山形）

鶴岡市消防本部では、令和8年2月9日（月）、10日（火）の2日間、全職員を対象としたハラスメント研修を実施しました。

両日は、株式会社接遇コミュニケーションの能勢氏を講師としてお招きし、パワーハラスメントやモラルハラスメントについて講義いただき、良好な人間関係を築く上で、コミュニケーションが重要であることを改めて学ぶ機会となりました。

また、受講者それぞれが習得したい内容について目標を設定し、研修の最後に達成度の振り返りを行ったことで、より学びを深めることができました。

研修は、終始良い雰囲気が進み、グループディスカッションでは、活発に意見交換が行われるなど、とても有意義な研修となりました。

今後も、本研修で学んだことを生かし、ハラスメントのない職場づくりに努めてまいります。



【研修の様子】

◆ 消防活動における電気安全に関する警防教養を実施

鹿島地方事務組合消防本部（茨城）

鹿島地方事務組合消防本部では、令和8年2月10日（火）、東京電力パワーグリッド株式会社竜ヶ崎支社鹿島事務所にご協力いただき、消防活動における電気安全に関する警防教養を実施しました。

当日は、同事務所の所長と社員の計4人を講師としてお招きし、これまでの豊富な経験に基づき、電気災害、漏電と感電、架空配電線路の概要と事故事例についてご講義いただきました。

前半の座学では、電柱の配線電路などの配列や構造、災害現場における電力設備の危険性や安全管理の判断基準などの電気災害について詳しく学んだほか、後半には、同社の緊急車両を展示していただくとともに、資機材についてご説明いただきました。

今後も、電気災害の対応に万全を期してまいります。



【教養の様子】

その他

◆ 小学校で防災教室を実施

湖南広域消防局（滋賀）

湖南広域消防局では、令和8年1月29日（木）、当消防局が推進する防火防災教育プログラム「9 Years Plan」の一環として、栗東市立治田西小学校において、防災教室を実施しました。

当日は、全校生徒を対象に学年に応じた内容で取り組み、1、2年生は煙体験を含めた火災からの脱出方法、3、4年生は防災倉庫の見学と地震体験、5、6年生は救命入門コースで応急手当を学んでいただきました。

このプログラムにより、幼少期から、火災や地震にあったときの自分の身の守り方や周りの人を助ける方法などを身につけるとともに、一人一人の防災意識を高めることで、将来にわたり地域の防災力の向上につながることが期待されます。



【防災教室の様子】

◆ 女性消防職員の密着動画を作成し動画を公開

豊田市消防本部（愛知）

豊田市消防本部では、令和8年2月4日（水）、当市公式YouTubeチャンネルにおいて、当消防本部の女性消防職員に密着した動画を公開しました。

この動画は、消防行政への理解促進、採用広報、職員のキャリア支援を目的として作成し、公開したもので、今回で4作目となります。

動画内容は、現場で活躍する女性消防職員の日常に密着したもので、訓練に取り組む真剣な姿や緊急出動時の緊張感あふれる様子などをリアルに描写したほか、女性消防職員の働き方やキャリアパスを考える上でのヒントや気づきを得られる内容となっています。

この動画公開を通じて、市民の皆さまに、消防活動の重要性や消防行政の役割をより深く理解していただくとともに、女性を含む将来の消防職員を目指す若者たちへの採用広報につながることを期待されます。

今後も、引き続き職員密着動画を作成・公開し、積極的な広報活動を行ってまいります。



【動画の様子】

◆ 「小山市地域防災力向上研修」を実施

小山市消防本部（栃木）

小山市消防本部では、令和8年2月7日（土）、小山市自主防災会連絡協議会、小山市消防団、小山市女性防火クラブ連合会の三団体と共催で、「小山市地域防災力向上研修」を実施しました。

この研修は、地域の防火・防災活動に取り組んでいる三団体の皆さまが一堂に会し、相互の連携強化と地域防災力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、名古屋大学名誉教授兼あいち・なごや強靱化共創センター長の福和伸夫氏を講師としてお招きし、「温故知新と居安思危～大規模地震を凌ぐ～」をテーマにご講演いただきました。

今後も、三団体と一層連携を深めるとともに、地域防災力のさらなる向上に努めてまいります。



【研修の様子】

◆ 消防功労者に管理者から感謝状を贈呈

西置賜行政組合消防本部（山形）

西置賜行政組合消防本部では、令和8年2月10日（火）、当市内で発生した2件の救急事案において、顕著な貢献のあった消防功労者6人に対し、管理者である内谷長井市長から感謝状を贈呈しました。

1つ目の事案は、令和7年9月16日（火）、勤務先で心肺停止となった傷病者に対し、従業員である消防功労者4人が連携して、119番通報、胸骨圧迫、AEDを活用した除細動を行い、救急隊に引き継いだものです。

2つ目の事案は、令和7年11月16日（日）、寒冷下において、水路内で倒れている傷病者に対して、発見した消防功労者2人が連携し、溺水防止を図るなどの救護活動を行い、傷病者の容体安定に大きく貢献したものです。

地域の安全を守るために行動された消防功労者の皆さまの高い防災意識と勇気ある行動に、心より敬意と感謝を申し上げます。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

国等の動き

消防庁通知等

◆ 指定緊急避難場所の指定の促進及び適切な指定等について

（府政防第200号、消防災第15号、令和8年2月13日）

内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（調査・企画担当）、消防庁国民保護・防災部防災課長から各都道府県消防防災主管部長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

平素より防災行政の推進に御尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今般、「令和7年度消防防災・震災対策現況調査の実施について（依頼）」（令和7年4月30日付け消防情第162号）内の市区町村調査項目第35表「指定緊急避難場所の指定状況」に基づく調査結果を別紙1のとおり取りまとめましたので、お知らせいたします。（別紙省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/1e5ce902c3f1d19d881d7c701ddc20925ff1d1fa.pdf>）に掲載されています。

<本件連絡先>

【指定緊急避難場所の制度関係】

内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（調査・企画担当）付
中路、堀尾（TEL：03-5797-7693）

【指定緊急避難場所に関する調査】

消防庁国民保護・防災部防災課
鵜飼、田崎、田道（TEL：03-5253-7525）

消防本部の“今”を「週間情報」へ

～身近な出来事、旬な情報を週間情報で発信しませんか？～

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

・原則毎週刊行しており、速報性のある広報となっています。

【留意事項】

・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。

・文章は、Word で200～400文字程度、写真は、1～2枚を Word に貼り付けて送付してください。

（貼り付けできない場合は、JPEG 画像データを送付してください。）

・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

【問合せ】：「週間情報」担当・企画課 吉田 TEL:03-4500-6622

原稿データは、weekly@fcj.gr.jp に送信願います。



機関誌「ほのお」掲載記事募集中

全国の仲間に共有したい取り組みとその情熱を「ほのお」へお寄せください

全国消防協会では、機関誌「ほのお」への掲載記事を募集しています。

・**トップ・セカンド記事** 完成原稿は不要 掲載希望内容の概要（企画案）を提出

・**消防ワイド** 写真中心の自由投稿 文章:Word100 字程度／写真:JPEG1 枚

【問合せ】：企画課・中西 TEL 03-4500-6622

トップ・セカンド記事：kikakoho@fcj.gr.jp 消防ワイド：honoo@ffaj-shobo.or.jp

※添付 5MB 超は分割送信



消防デジタルイラスト募集中!!!

～あなたのイラストが全国の消防業務を支える力となります～

- あなたのイラストが、全国の消防本部で、広報・啓発・訓練・教材作成など、消防業務の様々な場面で活用されます。
- 全国消防長会ホームページの「令和版 消防デジタルイラスト集」に掲載されます。
- ホームページ掲載時には、「〇〇消防本部〇〇作」と作者名を明記し、あなたの名前と作品が、全国に紹介されます。

詳細は、[全国消防長会ホームページ](#)を検索!!!

